

「おくのほそ道」

330年の旅

9/13(金) ~ 10/20(日)

開館時間 10時~17時
休館日 9月30日(月)・10月7日(月)
入館料 一般300円
高校生以下無料



松尾芭蕉が「おくのほそ道」の題材とした東北北陸行脚の旅より330年を記念して、最後の杖措きの地として描かれた敦賀に残るゆかりの資料と敦賀の俳諧人による芭蕉顕彰の足跡を紹介します。

展示内容

- I 「おくのほそ道」の旅
芭蕉の旅路を辿ります。
- II 「おくのほそ道」と敦賀
敦賀と「おくのほそ道」の縁を紹介します。
- III 蕉風復興期の敦賀
敦賀の人々による芭蕉顕彰活動の意義を考えます。
- IV 敦賀の俳諧文化
敦賀に残る俳諧・文芸資料を探ります。

主な展示物



蕉翁宿額 (市指定文化財)



「奥の細道」素龍清書本 (重要文化財)



芭蕉肖像 (市指定文化財)



竹杖 (松尾芭蕉所有) (市指定文化財)

「おくのほそ道」と敦賀

「おくのほそ道」は、江戸時代の俳人松尾芭蕉が江戸から東北・北陸を巡る旅を題材に、各地の景色や出来事を創作も交えてつづった紀行文です。

芭蕉は今から330年前の元禄2年(1689年)におくのほそ道の旅に出ました。そして旧暦の8月、仲秋の名月にあわせて敦賀を訪れ、多くの句を詠んでいます。

敦賀は「おくのほそ道」の旅の最後の目的地で、芭蕉が敦賀の宿屋に残したと伝わる「竹杖」が残され、また「おくのほそ道」の決定稿と言われる「素龍清書本」が伝えられています。

関連イベント

● 展示解説

とき 9月14日(土)、22日(日)、10月12日(土) 各日13時

※申込不要・参加無料(要入館料)

氣比史学会主催市民歴史講座

● 「奥の細道」を読み解く

― 芭蕉の歩いた敦賀 ―

とき 9月21日(土) 14時

ところ きらめきみなど館

講師 和洋女子大学

教授 佐藤 勝明 氏

※申込不要・参加無料

10月は3R推進月間

捨てないで！大切な資源

私たちは日々の生活の中で、気付かないうちにリサイクルできる大切な「資源」を捨ててしまっているかもしれません。



新人・カワバタさん カナイ先輩

3Rとは

Reduce (リデュース:ごみを減らす)、**Reuse** (リユース:繰り返し使う)、**Recycle** (リサイクル:資源として再利用する) の3つの英語の頭文字を表したものです。3R活動はこの3つのRに取り組むことでごみを減らし、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(循環型社会)をつくらうとすることです。

古紙の分類を再確認！

古紙は4つに分けて出す

敦賀市では、古紙を4種類に分けて回収しています。それぞれに区分し、ひもではばって地区のステーションまたは地域の集団回収に出すか、清掃センターに持ち込みましょう。

「古紙の区分」

- ① 新聞紙(折り込みチラシ含む)
- ② 段ボール
- ③ 雑誌・本類
- ④ 雑がみ(紙製容器包装含む)

手軽に3R活動に取り組みよう

買い物には、マイバックを持参しましょう！

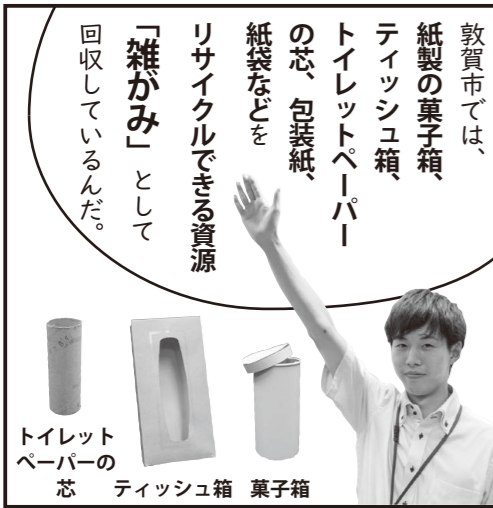
敦賀市では、買い物時のレジ袋削減のため、マイバック持参運動を推進しています。その取り組みの一環として、市内のスーパー等の協力によりレジ袋の有料化を実施しています。また、これらの店舗では、その収益で環境保全などの社会貢献活動に取り組んでおり、その一部は市に寄附され、市では環境保全に関する事業(ダンボールコンポスト講習会など)に活用しています。



残った箱はごみ箱に捨てよう！



あ、お菓子全部食べちゃった。



敦賀市では、紙製の菓子箱、ティッシュ箱、トイレットペーパーの芯、包装紙、紙袋などをリサイクルできる資源「雑がみ」として回収しているんだ。



トイレットペーパーの芯 ティッシュ箱 菓子箱



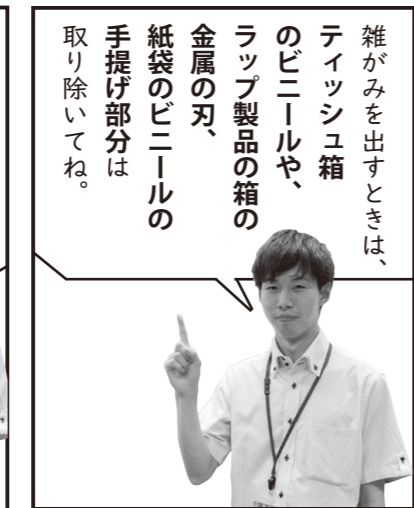
カワバタさん、今捨てようとした菓子箱、実はリサイクルできる資源なんです！

そ、そうなんですか、先輩…。



出すときは、紙袋に入れて、ひもではばって、地区のステーションまたは地域の集団回収に出すか、清掃センターに持ち込んでね。

3R活動ですね、先輩！



雑がみを出すときは、ティッシュ箱のビニールや、ラップ製品の箱の金属の刃、紙袋のビニールの手揚げ部分は取り除いてね。



取り除いてね。

取り除いてね。